

爆発物の有無を約3秒で探知 ウォークスルー型爆発物探知装置

ウォークスルー型爆発物探知装置は、爆発物の検査を自動化することで、爆発物の有無を短時間で探知します。

重要施設、交通機関などの入退場チェックや、競技場、国際会議場、アミューズメント施設などのセキュリティ強化に適用できます。



爆発物を探知する仕組みはわずか3ステップ



特長

1 高いスループット（爆発物の有無を約3秒で探知）

- ・1時間あたり最大で約1,200人を検査
- ・通行者の流れを妨げることなく短時間で検査

2 手間なく検査することが可能

- ・IDの認証と同時に爆発物検査
- ・通行者の検査されるという抵抗感が少ない

3 検査スタッフを含めたライフサイクルコストの削減

- ・装置ごとに検査スタッフの配置が不要
- ・複数の装置を一括で監視

4 IDと爆発物検査結果の関連付け

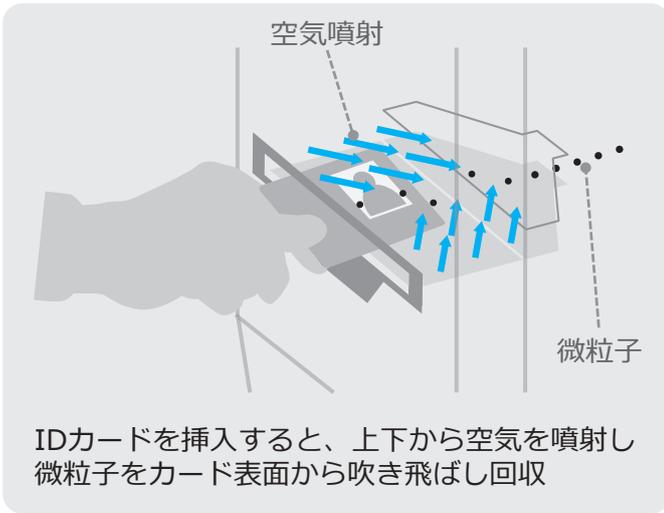
- ・検査結果と個人とを関連付けてデータ蓄積が可能
- *別途オプションにて対応

5 セキュリティ関連機器との連携

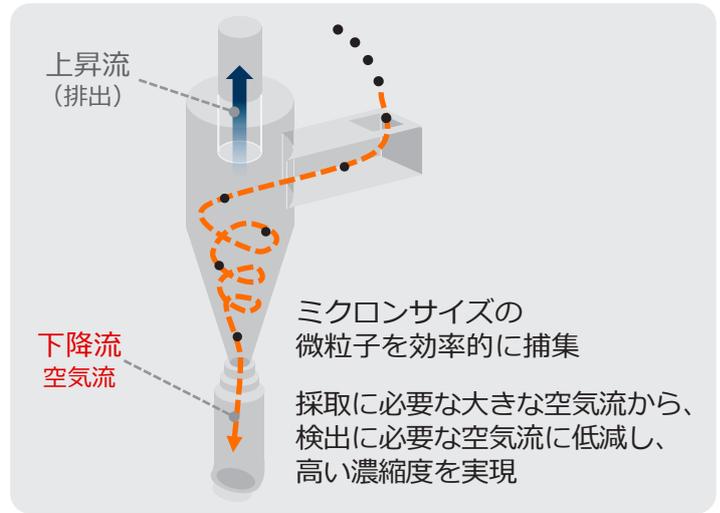
- ・監視カメラや顔認証との連携で追尾、行動監視
- ・セキュリティゲートとの連携で入退出を制限
- *別途オプションにて対応

爆発物を探知する仕組み

① 付着微粒子の採取

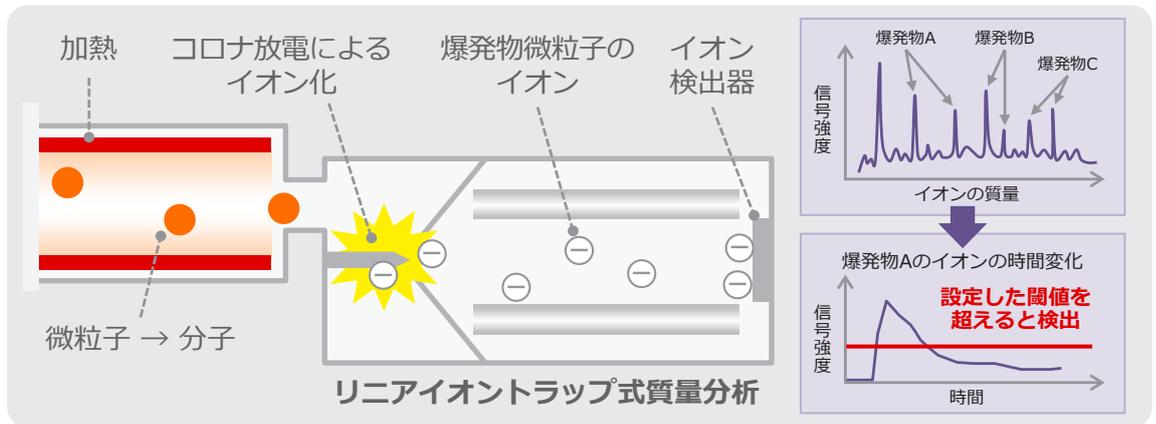


② 濃縮



③ 分析

コロナ放電によりイオン化し、そのイオンの質量によって爆発物を探知



* 文部科学省「社会システム改革と研究開発の一体的推進」プロジェクトの成果が活用されています。

製品仕様

項目	内容	項目	内容
型式	WTD2000Ex-NP	分析時間/スループット	約3秒/最大毎時1,200人
採用技術	コロナ放電イオン化、リニアイオントラップ式質量分析、サイクロン	稼働時間	24時間連続稼働可能
探知可能爆発物	軍用爆薬や手製爆薬ほか	電源・消費電力	AC100-240V 50/60Hz 1.5kW以下
検出感度	数ng~数10ng (軍用爆薬、分析器単体)	外形・重量	290mm(W) x 1,225mm(D) x 1,320mm(H) 200kg(本体のみ)



安全に関するご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「取扱説明書」、「使用上のご注意」などをよくお読みのうえ、おまもりください。

- カタログに記載の仕様は、製品の改良などのため予告なく変更することがあります。
- 本製品を輸出される場合には、外国為替および外国貿易法の規制ならびに米国の輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。

製品に関する詳細・お問い合わせは下記へ

- インターネットでのお問い合わせ
https://www.hitachi.co.jp/control_sys/etd/